

「2022年上期の回顧と 下期の展望」

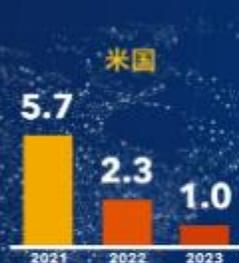
1. **ブラジル経済動向**
2. **銀行業界動向**
3. **保険業界動向**

1. ブラジル経済動向

2022年7月世界経済見通し(改訂見通し)

地域別の成長予測

(%変化)



中南米・カリブ諸国



サブサハラアフリカ



ブラジル*



2022年上期の振り返り

- 資源価格上昇、サプライチェーン混乱によるインフレ圧力の高まり
- 世界各国の中銀は引締めモードに移行

ブラジル国内

- 貧困層への支援を拡充→経済にプラス作用
- Selic レート引き上げ
- 大統領選挙情勢の活発化

ブラジル国外

- 地政学的リスク（ロシア・ウクライナ戦争）
- 中国の大規模ロックダウン
- 米国の利上げ開始

2022年下期の注目点

- 大統領選を控え、混乱が広がる？
- インフレ高騰と高金利による購買力の低下を政府のインフレ対応策が下支え

ブラジル国内

- 大統領選
(第1次：10月2日、第2次：10月30日)
- Selic レート高止まり

ブラジル国外

- 米国中間選挙
- グローバル・リセッション(インフレ・コロナ・戦争)懸念の高まり

主要マクロ経済指標の推移

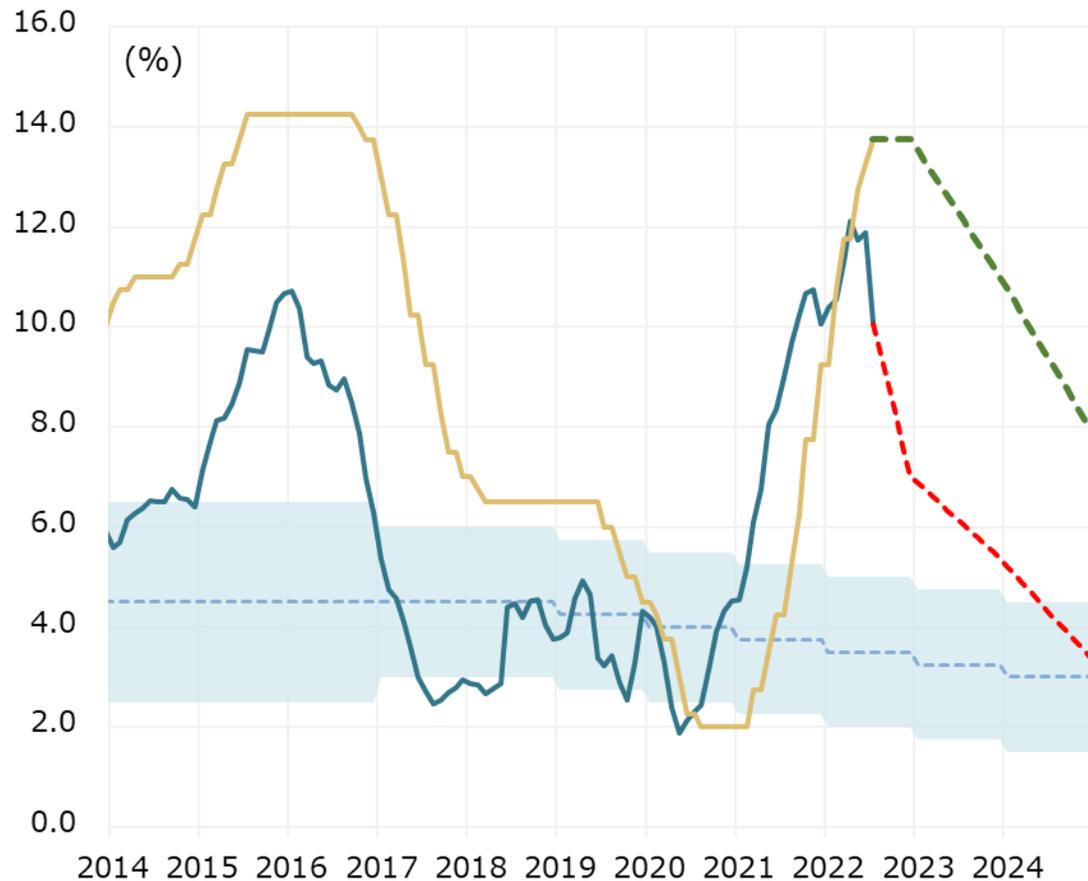
	単位	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022年末 予測*	備考	出所
実質GDP	%	0.54	▲ 3.54	▲ 3.27	1.32	1.79	1.22	▲ 3.87	4.62	2.00		IBGE
名目GDP	10億BRL	5,779	5,996	6,269	6,585	7,004	7,407	7,468	8,679	-		IBGE
鉱工業生産指数	%	▲ 3.0	▲ 8.3	▲ 6.4	2.5	1.0	▲ 1.1	▲ 4.5	3.9	-	年初来、数量	IBGE
IPCAインフレ率	%	6.41	10.67	6.29	2.95	3.75	4.31	4.52	10.06	7.02	前年比	IBGE
失業率	%	6.6	9.1	12.2	11.9	11.7	11.1	14.2	11.6	9.3**	期末値	IBGE
小売売上高	%	2.2	▲ 4.3	▲ 6.2	2.1	2.3	1.8	1.2	1.4	-	年初来	IBGE
貿易収支	10億USD	▲ 9.90	13.68	40.20	56.04	46.57	35.20	50.39	61.22	66.40		経済省
基礎的財政収支	10億BRL	▲ 23.5	▲ 120.5	▲ 161.3	▲ 124.3	▲ 120.2	▲ 95.1	▲ 743.3	▲ 35.1	-		財務省
公的部門債務	%	56.3	65.5	69.8	73.7	75.3	74.4	88.6	80.3	59.15	GDP比	BCB
Selicレート	%	11.75	14.25	13.75	7.00	6.50	4.50	2.00	9.25	13.75	期末値	BCB
USDBRL	BRL/1USD	2.66	3.96	3.25	3.31	3.87	4.03	5.20	5.58	5.20	期末値	Bloomberg
ポベスパ指数	Point	50,007.40	43,350.0	60,227.3	76,402.1	87,887.3	115,645.3	119,017.2	104,822.4	-	期末値	Bloomberg

予測はBCBのFocus Reportより抜粋

* 2022年8月15日公表分

** 2022年第2四半期失業率

インフレ・Selicレート見通し

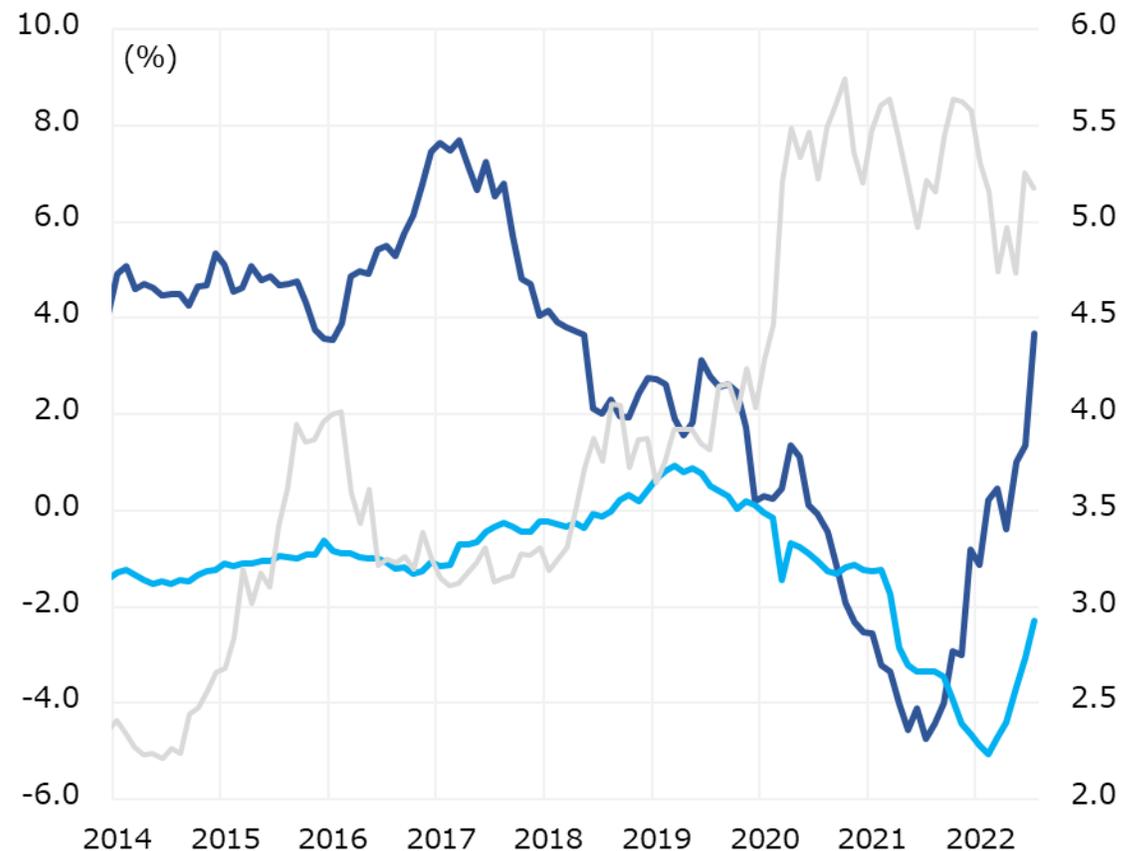


インフレーションターゲット
 IPCA 予測 (FOCUS Report)
 Selic 予測 (FOCUS Report)
 IPCA (前年同月比)
 Selic

*Focus Report : 2022年8月15日発表分

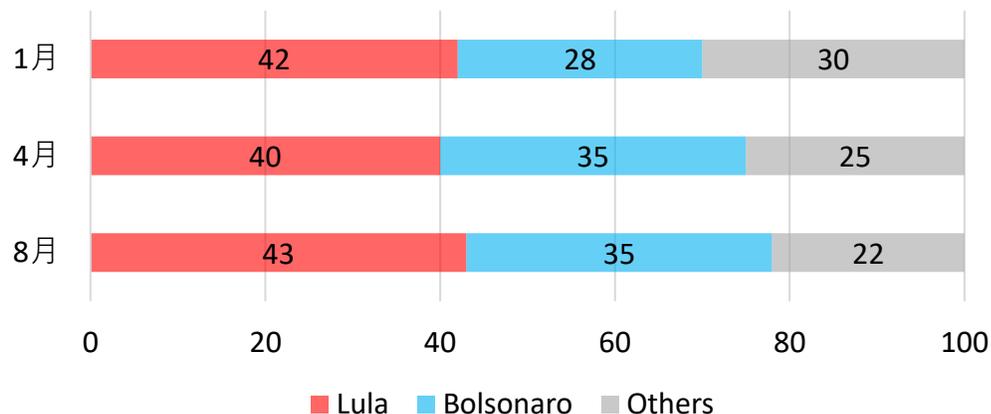
出所 : Bloomberg、BCBデータを基に算出

実質金利・為替推移



ブラジル実質金利 (Selic-IPCA)
 米国実質金利 (FF rate-PCEデフレーター)
 USDBRL (右軸)

世論調査



スケジュール

8月5日	党大会開催により、候補者選出最終日
8月15日	立候補届出期限 (TSE宛)
8月16日	有料選挙宣伝開始 (インターネットを含むメディア)
8月26日	第1次選挙のラジオ、テレビの無料選挙放送開始 (~9月29日)
10月2日	第1次選挙 (得票率50%未満時、上位2名で第2次選挙へ)
10月3日	メディアでの有償選挙宣伝開始 (~10月27日)
10月7日	第2次選挙のラジオ、テレビの無料選挙放送開始 (~10月28日)
10月30日	第2次選挙
12月19日	選挙結果の公式発表
2023年 1月2日	新大統領就任式

出所： PoderData、各種報道

主な政策

Lula元大統領

Bolsonaro現大統領

政党	PT 労働党	PL 自由党
イデオロギー	左派	右派
就任期間	2003/1-2010/12	2019/1-現職
政策方針	大きな政府	小さな政府
経済路線	社会公平性重視	自由主義
財政	歳出拡大路線	歳出上限遵守
構造改革	国営企業関与強化	国営企業民営化推進
	富裕層へ課税強化	所得税減税
	Bolsa Familiaの拡大	行政改革

2. 銀行業界動向

貸出残高推移

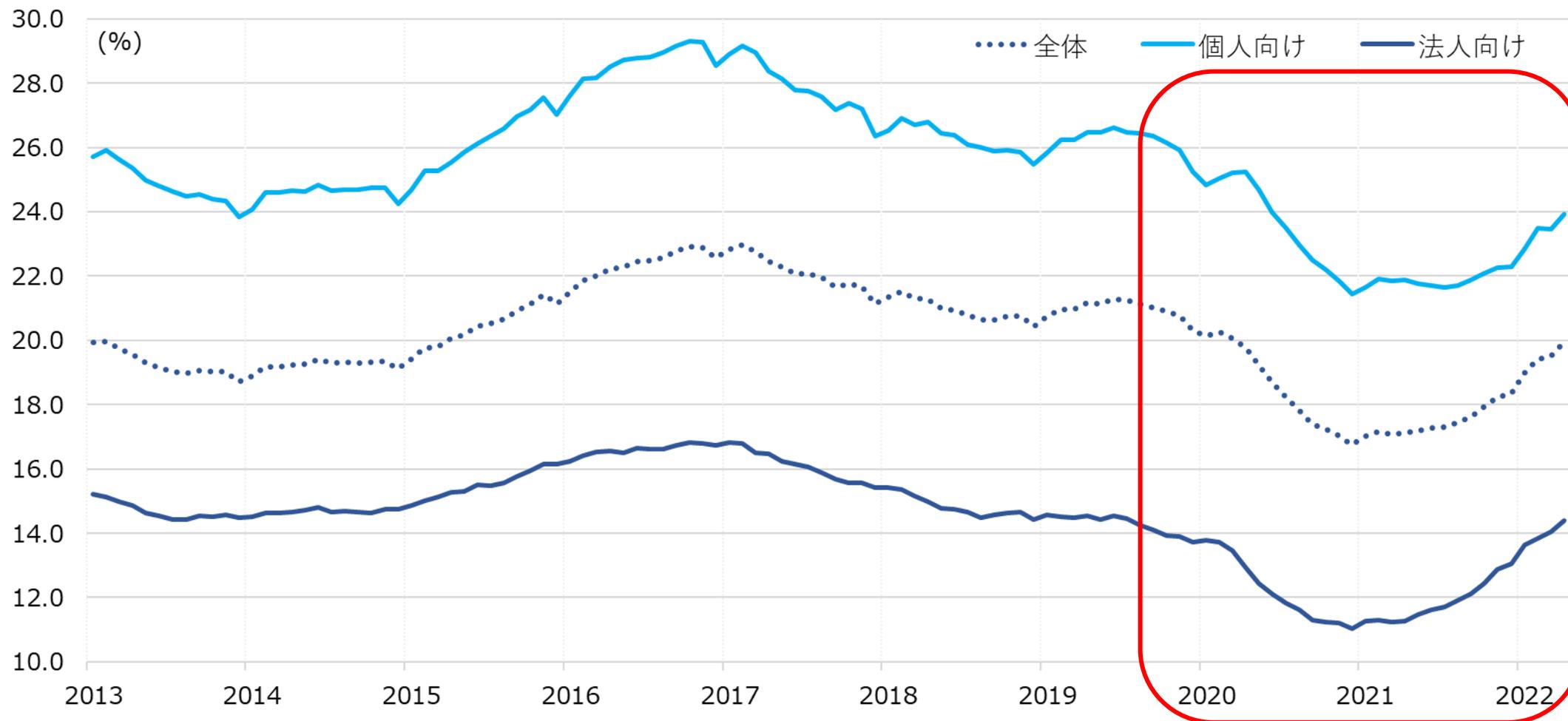
金融部会

(単位：10億レアル)

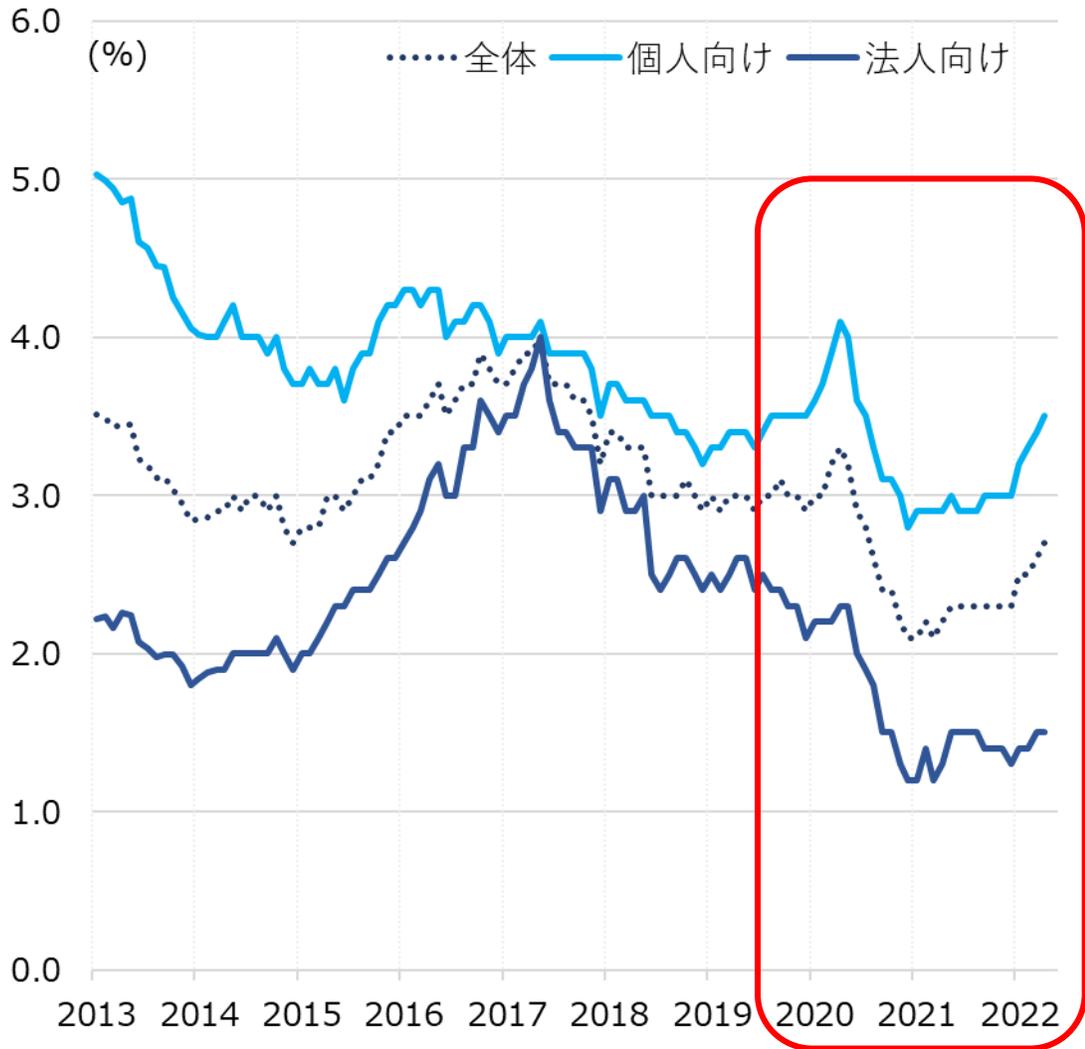
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022/04
貸出残高合計		3,230	3,118	3,105	3,265	3,475	4,017	4,673	4,816
	前年比 %	7.0	▲ 3.5	▲ 0.4	5.1	6.4	15.6	16.3	16.8
個人向け		1,519	1,569	1,660	1,803	2,017	2,241	2,711	2,832
	前年比 %	7.3	3.3	5.8	8.6	11.9	11.1	21.0	21.9
法人向け		1,447	1,311	1,223	1,245	1,263	1,552	1,759	1,785
	前年比 %	3.8	▲ 9.4	▲ 6.8	1.9	1.5	22.9	13.3	12.8
農業		30	28	26	28	27	33	40	41
	前年比 %	3.9	▲ 4.1	▲ 7.2	5.7	▲ 2.1	22.9	19.9	16.9
工業他		849	773	703	678	622	739	772	782
	前年比 %	7.4	▲ 8.9	▲ 9.2	▲ 3.5	▲ 8.1	18.7	4.5	5.6
サービス業		797	714	694	735	798	1,006	1,149	1,163
	前年比 %	5.8	▲ 10.4	▲ 2.9	5.9	8.5	26.1	14.2	13.2
(参考)実質GDP	前年比%	▲ 3.54	▲ 3.27	1.32	1.79	1.22	▲ 3.87	4.62	2.00*

*FOCUS2022年末予測

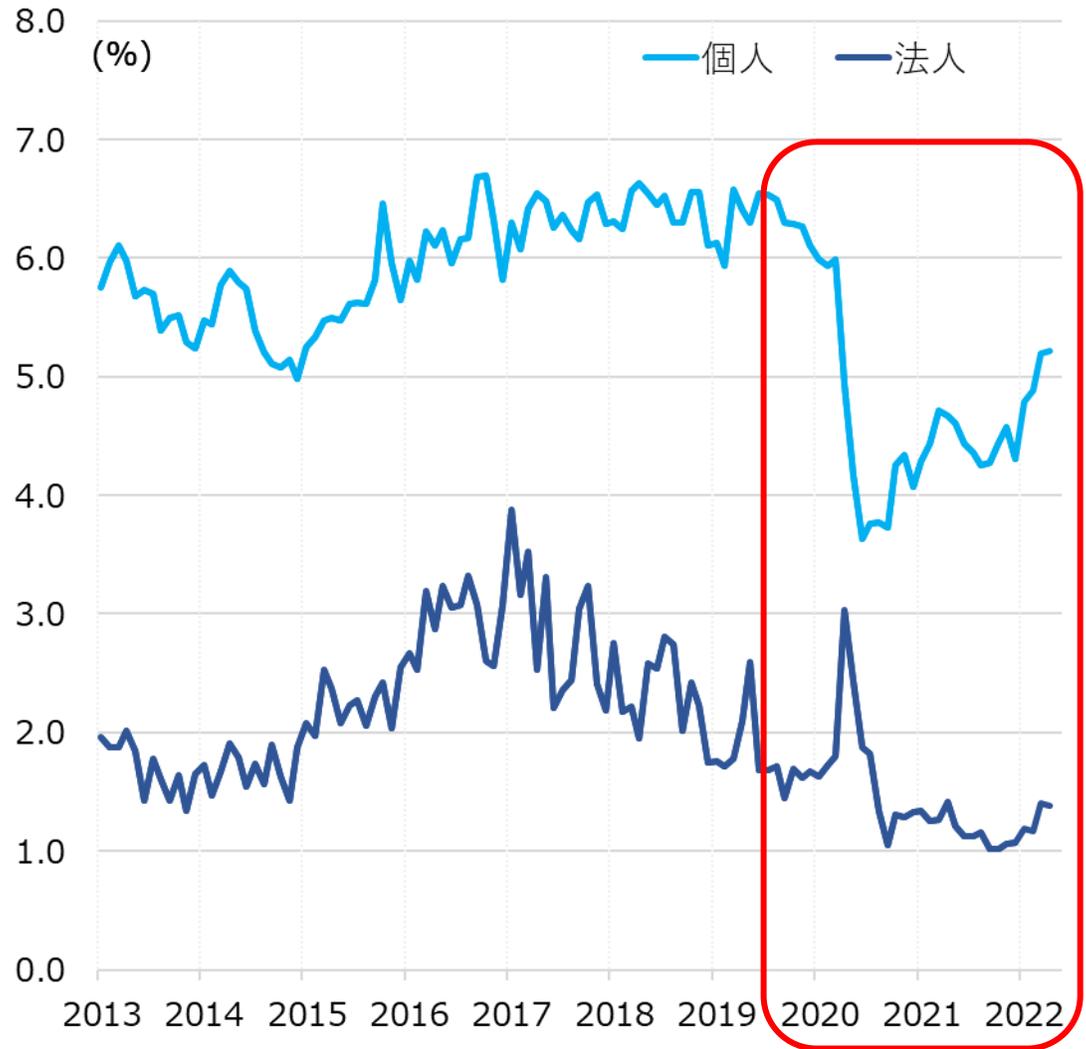
出所： BCB



不良債権 対総貸出比



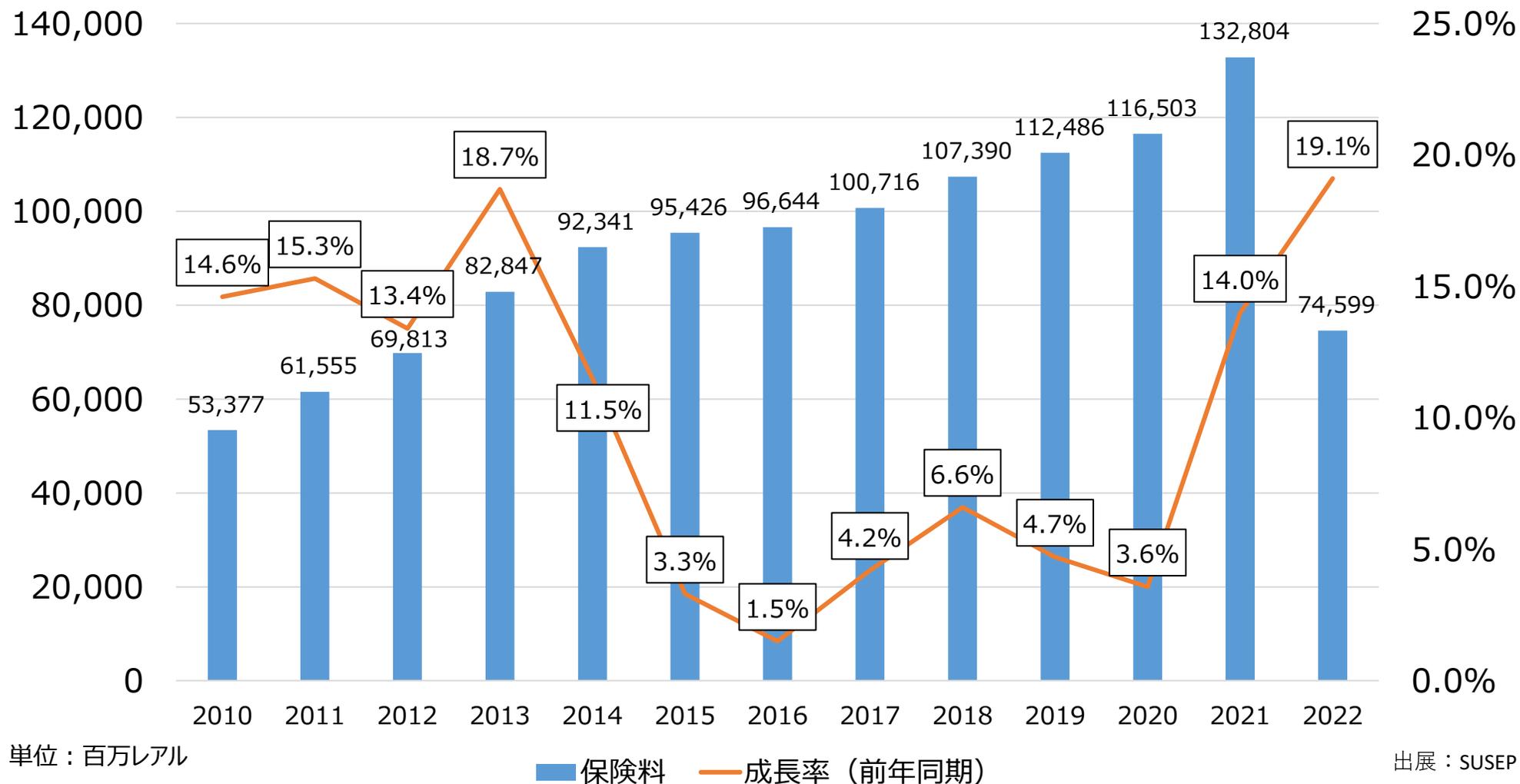
延滞率(15-90日)



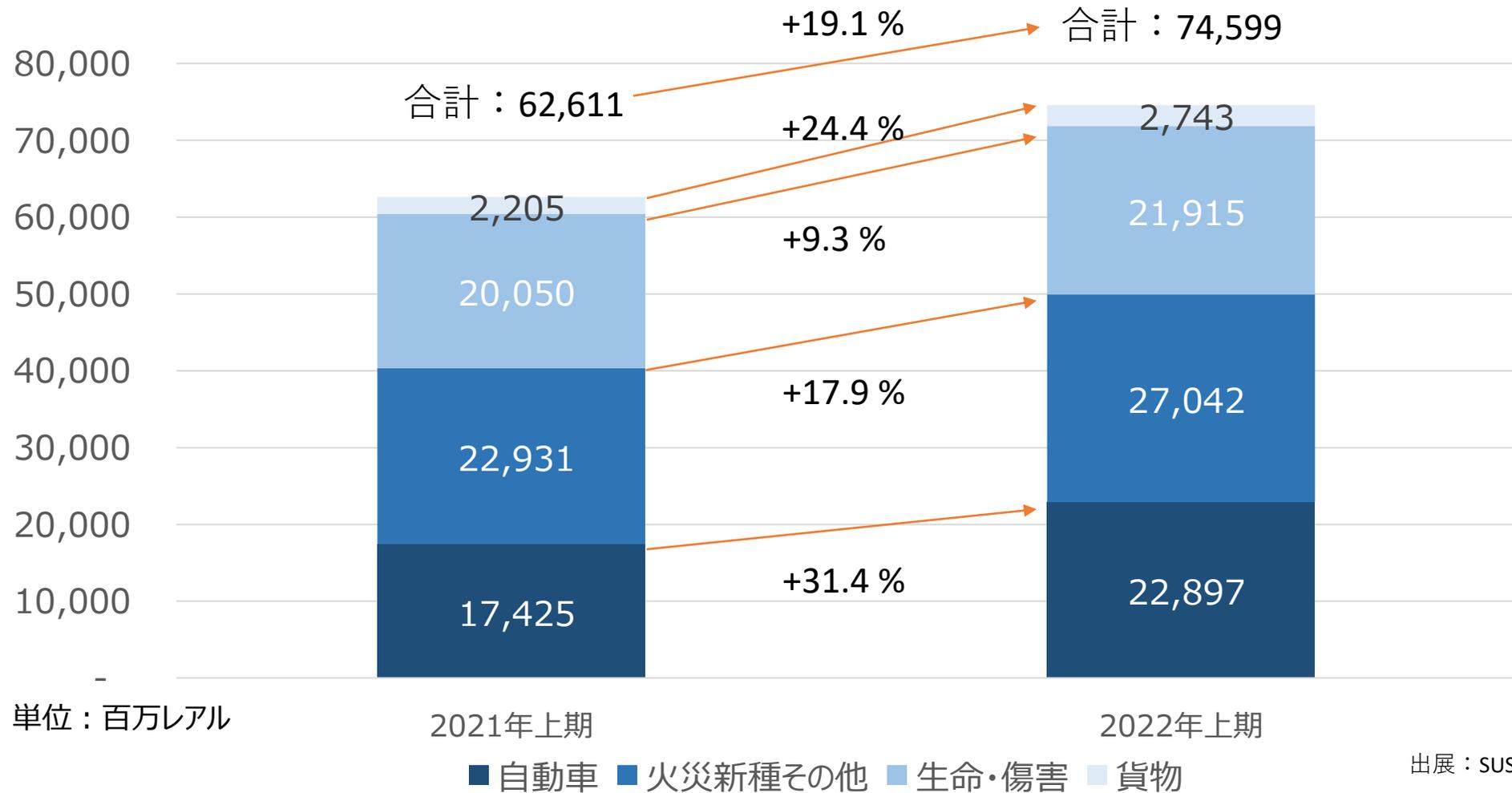
出所： BCB

3. 保険業界動向

- ・コロナ対策の反動、ウクライナ危機等を発端とする世界的なインフレ、供給資源のひっ迫の影響は、ブラジルの保険市場にも及んでいる。
- ・特に保険料ベースで市場の約3割を占める自動車保険は、インフレや半導体不足に伴う自動車部品および車両価格の高騰により支払保険金が増加したことが主因となって、損害率が過去5年間で最悪となった。
- ・保険料収入は、経済成長の影響というよりは、インフレ及び損害率悪化等のネガティブなインパクトの結果として、拡大傾向にある。



2022年上期の収入保険料は21年上期比で19.0%増加。2010年以降の成長率として初めて19%を超えた。



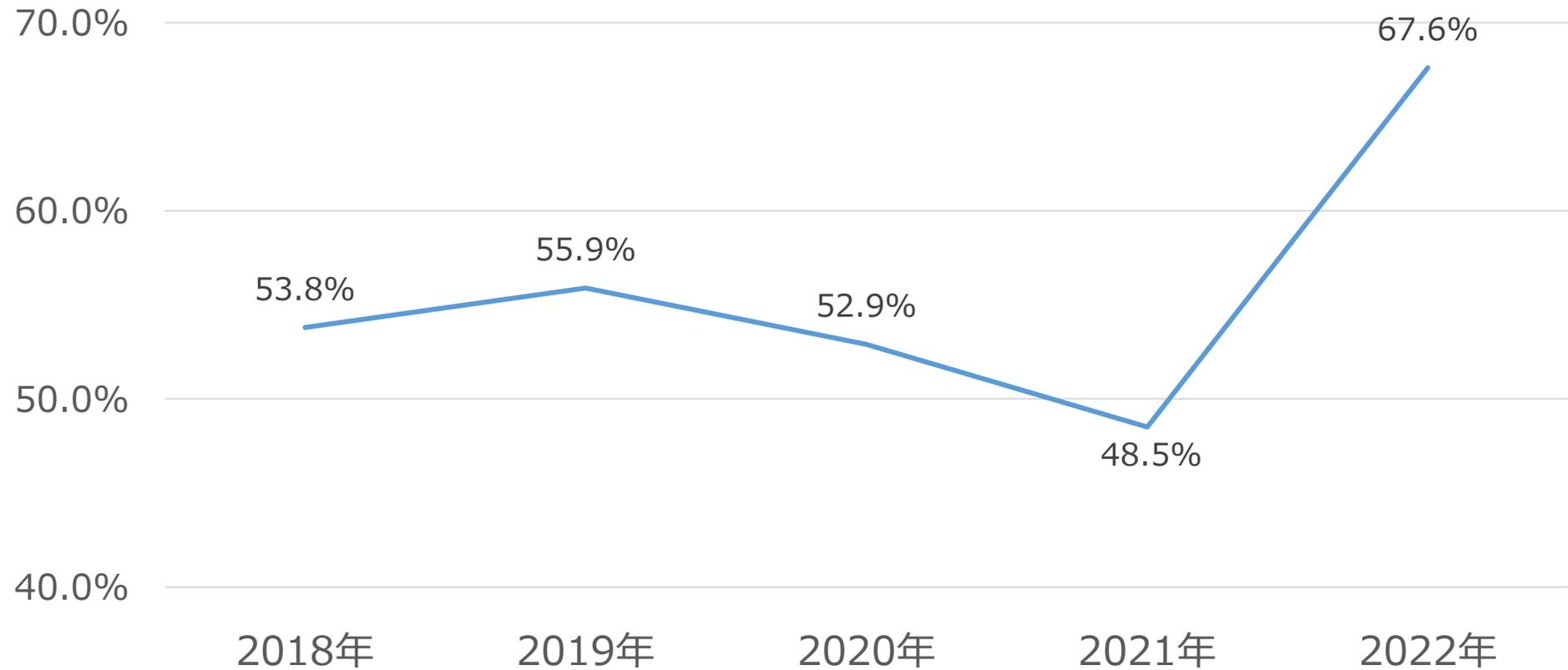
保険料ベースで生命保険・損害保険マーケット全体（除く年金・健康保険）の約3割を占める自動車保険が前年同期比31.4%増加と大きく成長し、市場全体の規模拡大を牽引している。

	2021年上期	2022年上期	増減
自動車	57.0%	74.1%	+17.1pt
火災・新種その他	42.9%	64.2%	+21.3pt
生命・傷害	51.3%	32.2%	▲19.1pt
貨物	44.4%	55.7%	+11.3pt
合計	49.4%	57.2%	+7.8pt

出展：SUSEP

- ・前年同期比で損害率は7.8pt悪化した。
- ・自動車保険では、インフレや半導体不足に伴う自動車部品および車両価格の高騰により支払保険金が増加したこと、交通量がコロナ禍以前の水準に回復したことによる事故件数の増加が大きく影響し、前年同期比+17.1ptとなった。
- ・生命保険はCovid-19関連の保険金請求が2021年上期対比で減少したことが主因である。

直近5年間の損害率推移(上期・損害保険のみ)



出展：SUSEP

・損害保険マーケットでは直近5年間で初めて上期損害率が60%を超え、67.6%まで悪化した。

	2022年見通し		2023年見通し	
	悲観	楽観	悲観	楽観
損害保険 *除くDPVAT	4.6%	12.5%	1.5%	10.6%
生命保険 *除く健康保険	3.8%	9.7%	3.4%	8.9%
合計	3.9%	10.3%	2.8%	9.4%

出展：CNseg

- 上表の2022年見通しは、2022年3月に公表されたものである。上期の成長率（19.1%）を考慮すると2022年通期での成長率は楽観見通し(10.3%)を超えると考えられる。
- 2023年の見通しは、10月に大統領選挙が行われることや直近のインフレ・政策金利等の動向を鑑みて2022年見通しよりも低い水準となっている。